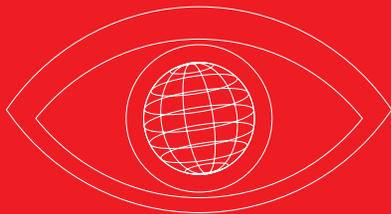


October 2004



# Pick UP INTERNET MOVEMENT

ニュースな数字から見える8月のインターネット

# 77,000 兆 億円

## 日本のウェブサイトの価値

今日では、ほとんどの企業がウェブサイトを開設していると言っている。しかし、そうしたウェブサイトがどのくらい業績に貢献しているかを把握している企業は少ないだろう。日本ブランド戦略研究所が9月21日に発表した「Web Equity2004」によれば、国内ウェブサイトの価値総額は7兆7,000億円と推測している。独自調査により有力250社の「売り上げ価値（売り上げに対するサイトの貢献）」と「情報価値（情報発信の効果）」を算出し、その結果から総額をはじき出した。個別企業のトップがトヨタ自動車で、サイトの価値は985億円、2位はマイクロソフトの934億円、3位が全日本空輸の859億円。

# 92%

## 多メディア時代でも新聞が必要だと思う人の割合

10月15日～21日が新聞週間だったことをご存じだろうか。これに先駆けて、読売新聞社では面接方式で全国世論調査を実施した。それによれば、インターネットなどが普及した多メディア時代になっても、「新聞が必要だ」と思う人は「どちらかといえば」を含めると、92%にのぼった。また、ネットでニュースを「見る」と答えた23%の人のうち、89%が新聞はこれからも「必要」と答えたそうだ。必要だという理由のトップは「好きな時に好きな場所で読める」だった。この理由は携帯電話も含めたモバイルインターネットにも言えることではないか？ さらにネットではここに「速報性」も加わるが.....

# 90%

## スパイウェアがインストールされているPCの比率

ウイルスの脅威や対策はだいぶ一般のインターネットユーザーにも知れ渡りつつあるような感もあるが、スパイウェアはどうだろうか。これは、ユーザーの知らないうちにPC内に入り込み、さまざまな情報を外部へ秘密裏に送信したり、広告を強制的に表示したりする者だ。デルとネット教育の非営利組織インターネットエデュケーションファウンデーション(IEF)が10月15日に公表した調査結果では「米国内のPCの90%以上には、なんらかのスパイウェアがインストールされており、さらに大半のユーザーはそれらの検出や駆除の方法をわかっていない」という。あなたは検出や駆除ができますか？

# 513 万人

## 8月の「ライブドア」運営サイト利用者数

プロ野球球団の所有をめぐるライブドアと楽天がしのぎを削る中、10月18日にはソフトバンクまでもがホークス買収に名乗りを上げて参入してきた。ところで、こうした行為を「売名行為」と批判する人たちもいるが、実際にはどうなのだろう。ネットレーティングスが9月27日にまとめた8月のインターネット利用動向情報サービスの調査結果によると、ライブドアが運営するすべてのサイトの利用者総数(重複分除く)は、前月の392万人から513万人へと121万人も急増し、今年2月の社名変更時の2.4倍に達しているという。一連の報道に加えて、掲示板「したらば」の統合やブログサービスの拡大が貢献している。

# 1セグ放送対応端末が勢揃い～CEATEC JAPAN開催 カメラに加えて地上波デジタル放送も音楽も まるごと収まる「ケータイ」の進化は止まらない

最新の技術や製品、システムが出展される日本有数のエレクトロニクス展示会であるCEATEC JAPANが10月5日から10月9日にかけて幕張メッセで開催された。

一番注目を集めていたのは「ケータイ」で、NTTドコモとKDDIがともに、1セグメント地上波デジタル放送対応の携帯電話を参考出品していた。また、機能の充実に伴っていったそらスタミナを求められる電池について、富士通研究所や日立製作所が携帯電話向けの燃料電池を出品していた。展示品は充電器の電源として使用するもので、携帯電話に内蔵するものが実用化されるまでにはまだ時間がかかるとのことだった。

また意外なほどに目に付いたのはネットワークカメラだ。ネットワークのブロードバンド化に伴って防犯・介護などの用途での需要も増加しており、各社から多くの商品が出展されていた。松下電器からはパソコンを介さずにネットワークカメラの画像を直接テレビで受信できるアダプターなども参考出品されていた。同じ松下のブースでは同軸ケーブルで200Mbps超の通信が可能な通信技術「c.LINK」の出品があり、多くの人が集まっていた。

各社から多くの製品が発売されているメ

ディアプレイヤーだが、中でもBluetooth搭載携帯電話(現行ではドコモ「F900iT」やau「A5504T」)に対応し、ハンズフリーキットとして使えるメモリープレイヤーなども出展されていた。

ほかに1TBのハードディスクを持ち、約1週間、6チャンネル分の放送を同時に録画でき、過去1週間分の映像を再生可能な「タイムマシン機能」を持つソニーの「VAIO type X」なども会場を沸かせていた。



KDDIブースで参考出品されていた1セグメント地上波デジタル放送対応携帯電話。NTTドコモでもデジタル放送対応携帯電話が参考出品されていた。



Bluetooth対応でF900iTなどのハンズフリーキットにもなる、アイワ製の首掛け型メモリープレイヤーも参考出品。本体に「ATRAC3plus mp3」とあったがmp3をそのまま利用できるかは「まだ検討中」とのこと。



TVアンテナに利用されている同軸ケーブルを使って200Mbps超の通信が可能な「c.LINK」は2005年内の製品化を目標としている。写真は松下電器産業ブースに参考出品されていたc.LINK用アダプター。



ビクターからも二足歩行のロボットが登場。Bluetoothを使った通信が可能。



① 富士通研究所のFOMA端末向け燃料電池はクレードル型で、リチウムイオン充電機の充電に使用される。② 日立製作所の燃料電池。携帯電話向けだけでなく数種の電池を展示。写真はノートブックPC用。③ 東芝の燃料電池は今回見かけた燃料電池では最も小さいサイズ。小型オーディオプレイヤー向けに開発されている。



VAIO type Xのプレゼンテーションには70年代風の衣装に身を包んだ竹中直人氏が登場し、「タイムマシン機能」を絶賛していた。

## ローソン・ハンコック氏が語る Contribute 3 の新機能 「管理」ではなく「パブリッシュ」するツール ビジネスユーザーでもサイトを手軽に直接更新

URL <http://www.macromedia.com/jp/software/contribute/>

9月1日に日本語版が発売されたウェブサイト運営ツールのMacromedia Contribute 3について、米マクロメディアのシニアプロダクトマネージャーであるローソン・ハンコック氏に話を聞いた。

### 編集機能も管理機能も大幅に強化

新バージョンのContributeの特徴としては、編集機能の強化、ワークフロー管理の強化、スケーラビリティの向上、FlashPaper 2の搭載などがある。

ページの編集機能の強化点としては、CSSへの完全対応や、拡大/縮小やトリミングといった基本的な画像編集機能の内蔵、動画を簡単にページに挿入する機能の追加などがある。また、「共有アセット」機能で画像やスクリプトなどを管理することも可能になった。

ワークフロー管理では、ページのレビューや公開承認の依頼をContribute内で行えるようになった。ウェブサーバー上に管理用のディレクトリーが自動的に作られ、そこに下書きのデータや、レビュー依頼の情報、各ユーザーが持っている権限などの情報を保存することで、特別なサーバーなしにサイトを管理できるようになっている。さらにチェックイン/チェックアウト機能により、ページを複数の人が同時に編集しても、間違っただけで上書きしてしまうこともない。

大規模サイトの管理も可能に

スケーラビリティの向上は、今回の大きな強化点だ。大規模なサイトの管理では、Contributeを中心とするWeb Publishing Service(WPS)を使うことで、管理用サーバーを通じてウェブサーバーへの接続、ファイルの更新、承認通知などを管理できるようになった。既存のActiveDirectoryやLDAPのユーザー情報を利用してユーザーを管理することも可能だ。

さらに、ページの更新などに関する詳細なログを残すことができ、ログ表示画面から該当するページを簡単に確認したり、ログをExcelに出力したりすることもできる。

ウェブでのオフィスドキュメント公開は軽快なFlashPaperが最適

オフィスドキュメントを簡単にFlash形式に変換できるFlashPaperもバージョンアップされ、MS Officeから直接FlashPaper形式に変換したり、さらにはPDF形式に変換したりすることも可能になった。

FlashPaper形式のドキュメントは、Flash PlayerがインストールされていればPDFよりも軽快に表示でき、文字の選択/コピー、検索や、表示の拡大/縮小も自由にできる。印刷する場合やメールに添付して送る場合にはPDFを使い、ウェブ上に公開して画面

で見る目的ならばFlashPaperを使うといった使い分けが今後主流となるだろう。

ユーザーが直接「パブリッシュ」する経験を提供

Contributeは、エンドユーザーが直接、しかも簡単にサイトの統一性やナビゲーションを保ったままサイトを更新できるうえに、既存のCMS(コンテンツ管理システム)よりも低価格で提供されている。Contributeは、既存のソリューションに代わってウェブのコンテンツ管理の問題を解決するものとなるだろう。

既存のCMSが「管理」が主眼のシステムなのに対して、Contributeはより「パブリッシュ」に重点を置いている。エンドユーザーが直接サイトを更新できるだけでなく、編集集中にもサイトがどのようになるのか「見る」ことができるのだ。既存のCMSのようなフォームでの入力よりも、ビジネスユーザーにとっては、はるかにわかりやすいはずだ。

Contributeは過去1年半ほどで20万コピーを出荷した。ブラウザとワープロを使える人であればだれでもウェブサイトを簡単に更新できることが受け入れられたのだろう。

Contribute 3は付録のCD-ROMにも収録されている(p.182を参照)。



WYSIWYGのページ編集機能が、CSSセントリックなページ作りに対応した。ページ編集時に書式を変更すると、自動的に新しいCSSのクラスが作られる。ページ編集時のCSSの処理やファイル更新時のチェックイン/チェックアウトは、Dreamweaverのエンジンを使用して実現されている。また、内蔵の強力な画像処理機能はFireworksのエンジンを使用している。



米マクロメディア シニアプロダクトマネージャーのローソン・ハンコック氏。

## ソフトバンクBBとの提携で販売ルートを確保

# シックス・アパートが「Movable Type 3.1 日本語版」を発売 パッケージ版製品の投入で法人向け販売を強化

http://www.movabletype.jp/

米国に続き、日本でもシックス・アパートが10月19日にブログソフトウェア「Movable Type 3.1 日本語版」を発売した。先月お伝えしたとおり、Movable Type 3.1では、投稿した記事のカテゴリーを階層分けできる機能が追加されている。また、PHPによる「動的ページ生成」の対応と指定した時間に記事を投稿する「予約投稿」の2つが、上級者向け機能として追加されている。

今回の発表の目玉は、その販売方法にある。前バージョンのMovable Type 3.0まではダウンロード販売のみで、決済方法もクレジットカードしか対応していなかった。しかし、Movable Type 3.1 日本語版では、ダウンロード販売に加え、新たに法人向けの「パッケージ版」の販売も開始する。パッ

ッケージ版の販売についてはソフトバンクBBと提携し、同社の持つ流通の強みを活かして法人向けの販売を強化していく構えだ。

シックス・アパート代表取締役の関信浩氏によれば、ブログのビジネス利用が注目される中で、法人からの購入の問い合わせが多くなっているという。

「法人からは見積もり書の発行や請求書払いなど多様な販売方法の対応に関する要望が多かった（関信浩氏）」

今回の提携は、このような日本企業の商習慣に合わせた営業強化のため、一般向けの小売店販売はないとしている。また、実際の販売は、SIやウェブインテグレーターなどが中心となる。パッケージ版の販売開始に伴い、ダウンロード販売で扱う商用ラ

イセンスは5ユーザー版と10ユーザー版のみとなる。

価格は、ダウンロード販売の5ユーザーライセンス版が税込みで2万6,250円から。パッケージ版もこの価格と同額程度になるという。パッケージ版の出荷は11月下旬の開始を予定している。なお、個人ユーザー向けの無償版と有料ライセンス版は引き続き提供されるが、個人ユーザーに関してはライセンスに対する前バージョンとの変更点はない。

シックス・アパートでは、ブログのビジネス利用に関する法人向けセミナーを東京で11月19日（金）と27日（土）、大阪で11月24日（水）に開催する。詳細はシックス・アパートのウェブサイトに掲載される。

## テレビは「家で見るもの」から「持ち歩くもの」になる？

# モバイル放送が衛星デジタル放送の「モバHO!」を開始 東芝とシャープが小型の専用端末を発売

http://www.mbc.co.jp/

モバイル放送株式会社は10月20日より専用端末で受信できるデジタル・マルチメディア放送「モバHO!」を開始した。

「モバHO!」はSバンド（2.6GHz帯）を利用した有料衛星デジタル放送だ。持ち運びできる専用端末で電波を受信できれば、日本全国どこでも（沖縄、小笠原諸島の離島は除く）同じ番組を視聴することが可能だ。

このサービスは7つの映像チャンネルと30の音楽・音声チャンネル、そしてデータ放送（約60タイトル）1チャンネルで構成される。月額利用料は基本料金400円に視聴料がかかる。映像、音楽・音声を視聴可能な「モバHO! A」が2,080円、映像チャンネルのみの「モバHO! B」が1,380円、音楽・音声チャンネルのみの「モバHO! C」が1,380

円、データサービス「モバHO! D」が300円。競馬情報番組の「グリーンチャンネル」は1チャンネル1,260円となっている。

今後は、ギャップファイラー（地上再送信装置）を設置し、都市部のビル陰や地下街といった電波が届かない地域でも受信を可能にしていくとのこと。

また本放送の開始に合わせて東芝とシャープから専用の受信端末が発売された。東芝「MTV-S10」は11月上旬発売予定の同社製デジタルハイビジョン液晶テレビで、SDカードに録画した地上波アナログ放送番組

の再生も可能。シャープ「4E-MB1」は早見早聞き視聴機能や、設定した時刻に自動的に電源が入る機能などが搭載されている。ほかにもPCカード型チューナーや車載端末などが各メーカーから発売される予定だ。



放送開始と同時に発表されたモバイル放送受信端末。左：東芝「MTV-S10」  
右：シャープ「4E-MB1」

## 本誌10周年を記念した企画がスタート

# インターネットマガジン2004ベストプロダクトアワードが決定 ノートン・インターネットセキュリティ2004などが受賞

本誌10周年を迎え、今年から、インターネットマガジンでは、1年間で優良なサービスや製品に対して賞を与える「ベストプロダクトアワード」を開設した(詳しくは94ページ参照)。このアワードは本誌の1月号から12月号までの間に発売・発表された製品やサービスを対象としている。

2004年はネットワークビジネス部門やウェブクリエイション部門、セキュリティ部門など計8部門を設置し、「**グーグルAdSense**」や「**Movable Type 3.0**」、「**ノートン・インターネットセキュリティ2004**」などが各部門賞を受賞した。

発表に先立って、ノートン・インターネットセキュリティ2004を提供するシマンテックなど一部の企業に対し、表彰を行った。



シマンテックの日本法人設立10周年を迎えたパーティー会場で、セキュリティ部門賞の授与が行われた。写真はシマンテック代表取締役社長の杉山隆弘氏(左)とインターネットマガジン発行人の井芹昌信(右)。

## インターネット上の人権侵害について 法務省からの削除依頼ルールを明確化

テレコムサービス協会、電気通信事業者協会、日本インターネットプロバイダー協会の3団体で構成する「プロバイダ責任制限法ガイドライン等検討協議会」は10月6日、「プロバイダ責任制限法 名誉毀損・プライバシー関係ガイドライン」を一部改訂した。従来は掲示板などネット上で人権侵害が見られたとき、被害者本人から削除依頼があった場合のみ指針が示されていたため、第三者である法務省からの依頼については判断が明確でなかった。新指針では法務省人権擁護局などが人権侵害のケースを見つけた場合、決められた書式に公印を押してプロバイダー側に削除を依頼する。ただし、法務省の要請は尊重するものの削除措置を採るかどうかの判断は、あくまでもプロバイダー側が下すことに変わりはない。

## グーグルが一番乗り?! デスクトップ検索の 「Google Desktop Search」ベータ版をリリース

米Googleは10月14日、「Google Desktop Search」のベータ版をリリースした。これはパソコン内のファイルを検索するツールで、ワード、エクセル、パワーポイント、テキスト、HTMLファイルやインターネットエクスプローラ5以上のキャッシュ、Outlook 2000およびOutlook Express 5以上のメールなどを検索対象にしている。利用は無料。一部日本語の検索結果に文字化けが見られることがあるが、概ね日本語でも使える。

<http://desktop.google.com/>



## MSNサーチテクノロジープレビュー 2.0 いよいよ日本語版も公開

MSNは新開発したアルゴリズムを使った検索エンジン「MSNサーチテクノロジープレビュー2.0」の日本語版を公開した。検索結果のドメイン表示機能やキャッシュ表示機能を搭載し、検索ワードの誤変換時および略称入力時、表記揺れの際には予想されるキーワードを示してくれる。検索アルゴリズムはまだインデックスの絶対量が少ないため評価ができない。プレビュー版への意見や感想も受け付けている。

<http://techpreview.search.msn.co.jp/>



## さくらインターネットが専用サーバーを刷新 帯域を従来の2~2.5倍に増強

さくらインターネットは、専用型レンタルサーバーサービス「専用サーバ」について、ネットワーク帯域の拡大やサーバーラインナップの強化など、10月6日からサービス内容を以下のとおり刷新した。ほぼすべての回線プランにおいてネットワーク帯域を2~2.5倍に拡大している。

新回線プラン名称	税込み月額料金	接続方法	利用帯域
10Mスタンダード	10,290	10BASE-T	帯域共有(帯域目安1.66Mbps)
10Mプレミアム	31,500	10BASE-T	帯域占有(10Mbps)
100Mスタンダード	105,000	100BASE-TX	帯域共有(帯域目安25Mbps)
100Mプレミアム	315,000	100BASE-TX	帯域占有(100Mbps)
1000Mスタンダード	525,000	1000BASE-T	帯域共有(帯域目安200Mbps)

<http://www.sakura.ad.jp/>

広告ページ

## メールに添付できない大きなサイズのファイルも手軽に渡せる デジタルデータ保管サービス「ウェブポケット」が 会員以外にデータを送信できる「ウェブポケットエクスプレス」を開始

URL <http://www.webpocket.net/>

ソニーグループの株式会社ウェブポケットは、有料オンラインストレージサービス「ウェブポケット」に、メールでやり取りできないような大容量ファイルを会員以外の人にも送信できる新機能「ウェブポケットエクスプレス」を追加。続いて、新機能専用のアプリケーションソフト「ウェブポケットエクスプレスPlus」もリリースした。

求められる大容量ファイルを手軽にやり取りする手段

ウェブポケットは、ウェブブラウザを利用して書類や写真、動画などさまざまな種類のデジタルデータをインターネット上のサーバースペースに保管できるサービス。2000年9月からサービスを開始しており、これまでに、サーバーにデータを保管できる「MYPocket」のほか、ウェブポケットの会員同士でファイルを共有できる「SHARE Pocket」、パソコンのデータを自動的にバックアップできる「BACKUPPocket」などのサービスを提供している。

今回追加されたウェブポケットエクスプレスは、SHAREPocketの一機能として追加されたもの。従来、画像や動画などの大容量ファイルをメールで送信しようとしても、プロバイダーのメールサーバーの制限によりやり取りできない場合があった。このため、CD-Rなどの記録媒体を使ってやり取りしたりしなければならず、手軽にファイルをやり取りできる手段が求められていた。こうしたニーズに対してウェブポケットが提供する

が、ウェブポケットエクスプレスだ。

ファイルはサーバーにURLのみ相手に送信

具体的なファイルの送信方法は、まずウェブポケット内の送信したいファイルを選択する。次に送信する相手のメールアドレス、件名、メール本文などを入力し、送信ボタンをクリックする。すると、ファイルはSHAREPocket内に保存され、「ウェブポケットエクスプレス通知メール」のみが相手のメールアドレスに送信される。ファイルを受け取る側は、通知メールを受け取ったら、メールに記載してある「ファイルのダウンロードページURL」をクリックしてアクセスし、画面に表示されたファイルをダウンロードする。アクセス状況確認機能もあるので、相手がファイルをダウンロードしたかどうかを知ることも可能だ。

送信できるのはウェブポケット上にあるファイルのほか、自分のパソコン内にあるファイルも可能で、ウェブポケット上の場合はフォルダごと送信することもできる。ただし、受け取る側はフォルダごとのダウンロードは行えず、ファイル1つずつとなる。送信できるファイルの最大容量はSHAREPocketの空き容量分までで、SHAREPocket内に保存されたファイルは3日間(72時間)保持され、その後、自動的に削除される。送信先は会員以外でもよく、最大3メールアドレスまで同時送信が可能だ。

なお、会員以外から大容量ファイルを受

信する場合は、すでに提供しているMY Pocketの「マイボスト」機能を使うことにより行えるため、今回のウェブポケットエクスプレスの提供により、会員以外での大容量ファイルのやり取りが可能となった。

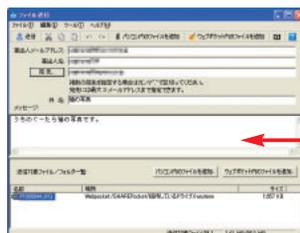
専用ソフトでより手軽に

一方、新たにリリースしたウェブポケットエクスプレスPlusは、ウェブポケットエクスプレスをさらに手軽にする専用アプリケーションソフト。このソフトを利用することで、送信側は複数のファイルやフォルダをまとめて送信できるほか、パソコン内のファイルやフォルダをドラッグ&ドロップで添付して送信することや、送信済ファイルの削除・閲覧が可能になる。また、受信側では複数のファイルやフォルダをまとめてドラッグ&ドロップでダウンロードできるようになる。

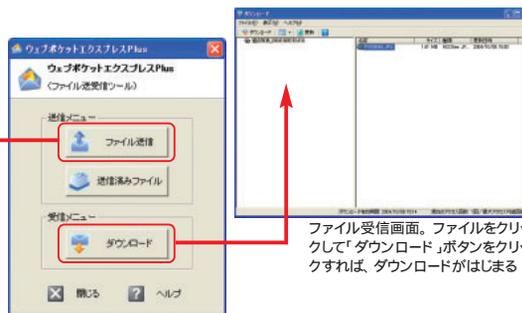
ファイルの受信側は会員以外でも無償で利用できるが、送信する場合はウェブポケットへの会員登録(有料)が必要だ。



「SHAREPocket」の画面。送信したいファイルにチェックをつけて「ファイル送信」ボタンをクリックするだけの簡単操作で、ファイルのやり取りができる



ファイル送信画面。メールソフトのインターフェースで分かりやすい



ファイル送受信ツール「ウェブポケットエクスプレスPlus」の画面

ファイル受信画面。ファイルをクリックして「ダウンロード」ボタンをクリックすれば、ダウンロードがはじまる

# いつもと違うプレゼントが見つかるセレクトショップ リンクが厳選したショップの商品だけを扱う ギフトサイト「e-select」がスタート

URL <http://www.e-select.st/>

Shopping

家族や恋人、友人など、大切な人へのプレゼントはどうやって選んでいるだろうか。相手からのリクエストがあるときや、自分が贈りたいものが決まっているときは楽だが、そうでないときのプレゼント選びは大変だ。気の利いたものを贈りたくてもなかなか見つからないし、そんなに時間をかけてもいられない。つつい無難な花束で済ませてしまう...なんて人が多いかもしれない。

at+linkの運営母体である株式会社リンクがはじめる「e-select」は、そんな人にぴったりのセレクトサイトだ。バイヤーが探し出した個性豊かなショップが店舗しており、素材にこだわった商品や、ちょっと変わったおもしろい商品が揃っている。

## いろんなところから集めた コダワリモノをプレゼント

e-selectのラインナップの一部を紹介しよう。まず、世田谷区奥沢に店舗を持つ「品物」このショップが扱うのは盆栽。いわゆる昔ながらの盆栽ではなく「景観盆栽」と謳っているもので、家の中にひとつ置いただけでちょっとしたアートコーナーができてしまうような盆栽だ。可憐な山野草からクロマツ、ゴヨウマツまで種類もさまざま。和室にも洋室にも似合い、長く楽しめる。同じく植物で「ジェイデザイン」の「ジェリコのバラ」も珍しい。これはアメリカ南部から中南米の砂漠地帯が原産の天然植物で、見た目は枯れた草のようだが、水を与えると3日程度で葉が緑色に変わり、空気を浄化してくれるという。

雑貨でも普段あまり目にしないような素材に注目したショップが並んでいる。九州の湯布院にある「ギャラリーブルーバレン」には流木や石などで作った小物入れや照明がある。自然のものだからこの世にひとつしかない一点ものだ。川崎の「TAMAGAWA FACTORY」には段ボールでできた棚や椅子がある。段ボールと言っても書棚が作れるほど頑丈な強化段ボールなので

強度は心配ない。リボンで雑貨を作っているのは日本有数のリボン製造産地である福井県今立郡の「リボンプロジェクト」。これがリボンかと驚くような美しいフラワーベースやボウルは一見の価値あり。

ゆったりとしたひとときをプレゼントしたいならコーヒー豆はどうだろうか。「珈琲工房ホリグチ」は全国の喫茶店からオリジナルブレンドの依頼があるという本格派の店だ。生豆の品質やロースト方法、釜にもこだわった自信の豆を、ローストした翌日に届けてくれる。

このほかにもアクセサリやワインなど、選んでいる間に自分が欲しくなってしまうような商品がずらりと並んでいる。商品はそれぞれのショップから直接発送されるため、ラッピングはもちろん店のオリジナル。また、メッセージを入力すれば、店のメッセージカードに手書きで入るようになっている。

## プレゼント選びを強力にサポート

これだけ素敵なものも並んでいても、いざとなったらどれを選んでよいかわからなくて困るという人もいるだろう。e-selectにはそんな人のプレゼント選びを手伝ってくれるサービスもある。贈りたい相手の性別、プレゼントの理由(「愛の告白」や「仲直りしたい」など)、プレゼントの重要度(「すごく重要」から「笑いがとれる程度」まで)を入力すれば、シチュエーションにぴったりのプレゼントを選んでくれるのだ。

来春からは価格だけを設定しておいて、受け取る側が商品を選べるサービスもスタートする。一度に何人もの人に贈れるので、結婚式のお祝い返しなどに利用するのもよい。また、カレンダーに誕生日や記念日を登録しておくこともできる。2週間前にメールで知らせてくれるので、うっかり忘れて怒られるなんて心配がない。ありきたりなプレゼントは卒業して、e-selectを利用してみたいはどうだろうか。大切な人の喜ぶ顔がきっと見られるはずだ。



トップページに表示されるカレンダーに、誕生日や記念日を登録しておけば、2週間前にはメールで知らせてくれる。うっかり忘れを防げるうれしい機能だ



クオリティの高い大きな写真で商品の雰囲気がつかみやすい。また、全体写真だけでなく、さまざまな角度から見る事ができる。商品を扱うショップの情報も充実

## e-select オープニング記念プレゼント

e-select サイト内のショップ全店で5万円分の買い物ができる「ギフトチケット」を抽選で60名様に  
・抽選対象者: e-select で期間中に商品を購入した人

イタリアGIORGIO FENDON社のカードケース(2種) ノートの3点の中から好きなものを抽選で200名様に

・抽選対象者: e-select に期間中にメンバー登録した人  
抽選対象期間: 2004年11月1日 ~ 11月30日  
抽選・発表: 2004年12月1日に抽選、12月10日サイト内で当選者を発表



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)